

主によって、人の歩みは確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。詩篇 37 : 23

-----

先日、真っ青になることがありました。祈り会に来る途中、信号待ちで、携帯を見て、バッグに入れ、信号が変わるとすぐ、自転車で走り出しました。祈り会の後、携帯がバッグの中になことに気が付きました。家に帰り、探しましたが見つかりません。確かに信号の所では、バッグの中にピンクのカバーの携帯があったはず。途中で落としてしまったかと、AUに電話すると、親切に対応してくださり、位置情報を教えてくれました。やはり教会周辺でした。茅ヶ崎人は親切だからきっと届けてくれている。どうか見つかりますようにと祈りながら、教会に近づくと、なんと、教会の掲示板の下レンガの上にピンクの携帯が！置いてありました。飛び上がるほど嬉しいやら、びっくりするやら、神様ありがとうございます!! 教会に入る段差で自転車を持ち上げた時にバッグから飛び出て道路にでも出たのかもしれませんが。どなたかわかりませんが拾って置いてくださったのでしょうか。心から感謝しました。無くした銀貨を必死に探した女性のイエス様のたとえ話を思い出しました。「銀貨10枚を持っている女の人がある1枚を無くしたら、明かりをつけ、家を掃いて、見つけるまで注意深く探さないでしょうか。見つけたら女友だちや近所の女たちを呼び集めて「一緒に喜んでください。なくしたドラクマ銀貨を見つけたから」と言うでしょう。」

「それと同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちの前には喜びがあるのです」といわれました。神様から離れて歩いていた人が向きを変え、神さまに立ち帰ることは、神様と御使いの前にはこの女性が飛び上がるほどに喜んだように、大きな喜びがあるのです。私たちも一人一人その大きな喜びに与ったものであると言うことはなんという光栄なことでしょう。

秋の歓迎礼拝が近づいています。一人でも多くの方々が、恵みのみことばを聞き、心開かれ、救いにみちびかれますように、そして天において大きな喜びがありますように。

伝道師 川島正子